

奇習 鬼追い



正月7日の夜、深川の熊野神社領域で県指定無形民俗文化財の「鬼追い」が行われました。

鬼追いは、仏に罪を告白し悔い改め、国家安泰や五穀成就を祈る仏教行事です。深川の鬼は、「招福除災の鬼」とされています。男鬼、女鬼、子鬼の三匹が境内の鬼堂から飛び出し、熊野神社領域を暴れまわります。鬼が暴れるほどその年は、五穀豊穡になると言われています。また、鬼が持つ「鬼の手」で叩かれた人は一年を健康に過ごせると言われており、これが「奇習」といわれる由来になっています。

当日は、観光特産開発センターによる観光ツアーも実施され、境内や参道は多くのお客さんで埋め尽くされました。

ひよっとこ踊り、鬼神太鼓の奉納演奏が行われた後、午後8時から鬼追いがスタート。半鐘や空砲が激しく鳴り響く中、三匹の鬼は熊野神社領域を縦横無尽に暴れまわりました。鬼が姿を現すと、歓声と共に御幣を求めて多くの人が果敢に鬼に群がり、鬼の手で叩かれなが

らも御幣を手にしていました。市内から初めて参加した佐野翔多朗さん（11才）は「本物の鬼は、テレビで見るとは違って、最初は恐かったけど、御幣もとれました。来年も参加したいです」と笑顔で話しました。



御幣を手にした佐野翔多朗さん（左）



縁起が良い豆の振る舞い